

## 入札業種区分勉強会開催される

“土地家屋調査士業務たる入札業種区分の創設”を求める活動は、これまで連合会が行ってきたところであるが、28年度から全面的に全調政連に委ねられることとなった。

全調政連では、早速2月15日に豊田俊郎参議院議員をお招きし、連合会会議室において第1回入札業種区分勉強会を開催した。

公共調達において、土地家屋調査士業務がどのように発注されているか、業種区分がなぜ設けられていないのか、業種区分が明らかでないことによる弊害は何か、司法書士、行政書士、不動産鑑定士等、他の専門資格者の状況はどうなっているか等について検討がなされた。

その結果、山積する課題に対し、引き続き幅広い資料収集と検討を重ね、実現に努めることとなった。

また、既に東京都、大阪府においては土地家屋調査士業務たる業種区分が定められており、千葉県においても県知事あてに業種区分創設の要望書が提出された。

各単位政連が単位会と連携し、地方自治体に対し同様の活動を展開することが土地家屋調査士の知名度を高め地位の向上を果たすことが確認された。

更に、土地家屋調査士の日額については、業種区分が設けられた後の活動になることで意見が一致した。

出席者は、以下のとおりである。

参議院議員（土地家屋調査士）・豊田俊郎、全調政連会長・横山一夫、同副会長・阿部重雄、同幹事長・椎名 勤、同副幹事長・池川晋一郎



池川副幹事長・阿部副会長・椎名幹事長・横山会長

豊田参議院議員